

科公財 第10号
令和6年4月24日
(公財)金沢子ども科学財団
事務局長 田村 和弘
(公印省略)

令和6年度ジュニア科学者養成講座 中期(8単位)

募集要項

- (1) ねらい
- ・興味ある実験や観察から問題点や課題を見つけ、主体的にそれらの解決に向けて追究する問題解決的な力を育成する。
 - ・夏休みの科学研究活動などを通して、科学的な研究を継続的に、根気よくやり遂げる態度を身につける。
- (2) 開催日
- ・7月6日(土)～8月24日(土)の期間中、夏休みまでは原則土曜日に、夏休み中は日曜、月曜日を除く都合のよい日に行う。
 - ・上記の期間で、指導者と受講者の話し合いにより実施日を設定する。
 - ・半日(3時間)を1単位とした合計8単位分以下の日を設定する。
 - ・原則、土曜日と夏休み中の開催。原則 午前 9時～12時
午後 13時～16時の間。
- (3) 募集定員 **5名程度**
- ・応募者多数の場合、指導者との兼ね合い、課題の研究分野、過去の受講歴などを考慮し財団で選考します。(選考結果は本人にお知らせします)
 - ・対象は**小学校3年生から中学校3年生の児童、生徒**
- (4) 募集条件
- 以下の要件に適應する児童・生徒
- ・半日(3時間)を1単位とした合計8単位の研究に意欲を持って取り組めること
 - ・理科の研究に真剣に取り組む意志を持っていること
 - ・研究した内容を他に伝えることに積極的であること
(12月8日(日)開催の「科学研究口頭発表会」に参加が望ましい)
 - ・特に**小学生は、保護者ととも受講すること**を基本とする。
- (5) 会費
- ・傷害保険等として2,500円必要

(6) 養成講座の学習の流れ（参考例）

○内の数字は単位数を示す
（8単位の指導過程例）

- 1 課題追究のための計画案づくり、研究計画1, 2などを立てる ①
- 2 研究計画1の検証実験や観察と結果の考察 ①
- 3 研究計画2の検証実験や観察と結果の考察 ②
- 4 これまでの実験・観察の経過、結果の考察、追加の実験観察と検証 ②
- 5 これまでの研究を振り返って分かったことと課題の明確化 ①
- 6 研究のまとめ 分かりやすく研究の成果と課題をまとめる ①
- 7 口頭発表会に向けての準備（発表会参加希望者）

(7) 事業の説明会

7月6日（土）9：30～12：30（第1回）

会場 金沢市長土堀青少年交流センター3階 学習室2・3

(8) 説明会までの手順

- 1 シュニア科学者養成講座 中期 の受講希望者は申込書を学校からもらい、直接財団へ郵送する。または、kodomokagaku-z@kanazawa-city.ed.jpへメールで申込書データを請求し、記入したデータを添付してメールで申し込む。（**いずれの場合も募集締め切りは6月3日（月） 必着**）
- 2 定員を超えた場合は、財団で選考の上受講決定の可否を本人に伝える。
- 3 受講生本人と保護者は7月6日（土）9：30からの説明会に出席する。

(9) 説明会当日持参するもの

○自分でやってみたい研究のテーマ

- ・研究をスムーズにスタートさせるために、テーマがはっきり決まっていなくても、自分なりに研究の方向を説明できるようにしておく（漠然とでもよいので「こんなことを研究したい」「こうやって調べたい」が伝えられるようにしておく）。
- ・継続しての研究の場合は、今までに取り組んだ研究物を持参してください。

○筆記用具、 会費（2,500円）

（公財）金沢子ども科学財団

金沢市長町3-3-3

TEL 221-2061

Email:kodomokagaku-z@city.ed.jp

担当 藤本 豊志

（月曜日、日曜日は定休日です）

令和6年度 ジュニア科学者養成講座中期（8単位） 申込書

過去の受講歴等 ジュニア科学者養成講座中期（8単位） () 回

ジュニア科学者養成講座長期（14単位） () 回

科学研究作品展入賞歴（優秀 回、優良 回、佳良 回）

科学研究口頭発表会参加 () 回

() 小・中 学校 年 氏名

フリガナ
保護者名

住所 〒

連絡電話（自宅） (携帯)

フリガナ

E-mail

研究分野（テーマ）・課題・研究計画等

※ 書ける範囲で 研究したいことや調べ方（実験や観察の方法など）を書きましょう

※ スペースが足りなければ2枚目や別に資料を添付してください。

（研究タイトル）

（申し込み日： 月 日）
【締め切り 6月3日(月)必着】

